九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[473]九州大学大型計算機センターニュース : No.473

https://doi.org/10.15017/1495383

出版情報：九州大学大型計算機センターニュース. 473, pp.1-6, 1992-11-05. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

九州大学
大型計算機センターニュース
No. 473

1992. 11. 5

福岡市東区箱崎六丁目１０番１号
九州大学大型計算機センター

目　次

1. FORTRAN77 EXコンパイラ，
FORTRAN77 EX／VPコンパイラ一部障害のお知らせ …… 1
2. SUCPMの運用停止について …… 4
3. UTILISPの運用停止について …… 4
4. APLの運用停止について …… 4
5. ADLⅡシステムの提供停止について …… 4
6. MNT78の運用停止について …… 5
7. RAMBIOSのデータ更新について …… 5
8. 第１０回九州大学大型計算機センター
計算機科学研究集会の開催について（再掲） …… 6

1. FORTRAN77 EXコンパイラ，
FORTRAN77 EX／VPコンパイラ一部障害のお知らせ

FORTRAN77 EX コンパイラ（MSP，UXP）および，FORTRAN77 EX／VPコンパイラに一部障害があったことが判明しました．内容，発生条件，障害のあった期間等は，次のとおりです．

障害に該当する場合，期間中に作成したロードモジュールは再作成する必要があります．お心あたりの方は，ライブラリ室までお問合せ下さい．

なお，障害は MSP，VP側は１９９２年１０月１２日（月）に，UXP側は１９９２年１０月２日（金）に修正済みです．

記

① 最適化オプション指定時の実行結果異常

【現象と条件】

以下の条件を全てみたすとき，実行時に異常終了するか，または実行結果が異なることがあります．従って，条件を１つでも満たさなければ，障害は起きません．また，発生頻度はかなり少ないと考えられます．

（１）OPTIMIZE オプションで翻訳している．かつ
（２）COMMON に配列変数が宣言されている．かつ
（３）別の配列変数が（２）の配列変数と EQIVALENCE 宣言されている．かつ
（４）更に別の配列変数が（３）の配列変数と EQIVALENCE 宣言されている．かつ
（５）（４）の EQIVALENCE 宣言において，（３）の配列変数の添字位置が（２）の配列変数の要素数より大きい位置を指定している．かつ
（６）（４）の配列変数への代入がある．

【プログラム例】

```
SUBROUTINE STBMPL
COMMON /CTRAC/ ALCM(1)          (a)
DIMENSION A(100)
EQUIVALENCE (ALCM(1),A(1))      (b)
DIMENSION ARELN(1)
EQUIVALENCE (A(28),ARELN(1))    (c)
  :
ARELN(K)= RXEL                  (d)
RETURN
END

PROGRAM MAIN
COMMON /CTRAC/ ALCM(200000)
  :
CALL STBMPL
  :
STOP
END
```

上記プログラムにおいて（a）が（２），（b）が（３），（c）が（４）と（５），及び（d)が（６）の条件に各々相当します．つまり，次のようになります．

（２）COMMON に配列変数 ALCM が宣言されている．　(a)
（３）別の配列変数 A が，配列変数 ALCM と EQUIVALANCE 宣言されている．　(b)
（４）更に別の配列変数 ARELN が，配列変数 A と EQUIVALANCE 宣言されている．(c)

（５）（４）の EQUIVALANCE 宣言において，配列変数 A の添字位置(28)が，
　　配列変数 ALCM の要素数(1)より大きい　　(c)
（６）配列変数 ARELN への代入がある　　(d)

② IVALUE サービスサブルーチンの実行結果異常

【現象と条件】
IVALUE サービスサブルーチンの第一引数を変更せずに実行すると，第三引数の値を誤った領域に設定する場合があります．
IVALUE サービスサブルーチンとは，CALL IVALUE(i,j,k) で呼び出され，第三引数で指定した値をそのまま第一引数に代入するサブルーチンです．第二引数は転送する個数を指定します．

【プログラム例】

```
@FORTRAN OPT(F)
      PARAMETER(ICNT=3)
      PARAMETER(IVAL=0)
      INTEGER*4 A(10)
       DO 10,I=1,10
        A(I)=I
10     CONTINUE
       DO 100,J=1,3
        CALL IVALUE(A,ICNT,IVAL)   !   配列 A の先頭 3つに 0 を代入する
100    CONTINUE
       WRITE(*,*) A
      END
```

出力結果：0　0　0　0　0　0　0　0　0　10　← 今までの誤った実行結果
　　0　0　0　4　5　6　7　8　9　10　← 修正後の正しい結果

［障害のあった期間］
ＭＳＰ，ＶＰ　１９９１年１１月１１日　～　１９９２年１０月９日
ＵＸＰ　　１９９２年　１月　８日　～　１９９２年１０月１日

（ライブラリ室　内線２５０９）
e-mail:f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

2. SUCPMの運用停止について

標記プログラムは 1970年にセンターのライブラリ開発課題として登録されたプログラムで，一つのプロジェクトについて，各工期の標準時間・特急時間及びそれらの費用を与えたとき，全工期を短縮するのに必要な最低限の費用を計算するものです．

過去におけるセンターのライブラリカウントの結果，利用者がきわめて少数であることから，開発者の許可を頂きましたので，ライブラリの運用を１９９３年３月末日をもって停止します．

運用停止によって支障の生じる方は，早めにライブラリ室までご連絡下さい．

（ライブラリ室 内線２５０９）
e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

3. UTILISPの運用停止について

標記ソフトウェアは，センターのライブラリ統計の結果，極めて利用が少数である上，現在運用中の COMMON LISP に UTILISP 互換機能が包含されています．従って，１９９３年３月末日をもって運用を停止する予定です．

運用停止にともない，支障の生じる方は，早めにライブラリ室までご連絡下さい．

（ライブラリ室 内線２５０９）
e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

4. APLの運用停止について

標記ソフトウェアは，センターのライブラリ統計の結果，極めて利用が少数であるため，１９９１年１２月末日をもって既に運用を停止しております．センター２階に設置されていたＡＰＬ端末も同時期に撤去されています．

ＡＰＬ利用者の方には事前の説明がなく，かつ運用停止のニュース・広報が大幅に遅延したことをお詫びいたしますが，宜しくご了承下さいますようにお願いします．

（ライブラリ室 内線２５０９）
e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

5. ADLⅡシステムの提供停止について

標記システムの提供をライブラリ開発者の許可を頂き，１９９３年３月末日をもって停止します．支障の生じる方は，早めにライブラリ室までご連絡下さい．

（ライブラリ室 内線２５０９）
e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

6. MNT78の運用停止について

標記プログラムは 1978年にセンターのライブラリ開発課題として登録されたプログラムで，半導体検出器の紙テープを BOB73 のデータセットに変換するコマンドです．
センターのライブラリカウントの結果，利用者がきわめて少数であることから，ライブラリの運用を，開発者の許可を頂きましたので，１９９３年３月末日をもって停止します．
運用停止によって支障の生じる方は，早めにライブラリ室までご連絡下さい．

（ライブラリ室 内線２５０９）
e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

7. RAMBIOSのデータ更新について

11月２日に分子生物学関係英文二次レビュー文献データベースＲＡＭＢＩＯＳ（Review Article in Molecular Biosciense）のデータを更新しました．収録データは，第１～６巻の5,381件です． データベース管理システムＡＩＲで検索することができます．

起動例

```
AIR RAMBIOS
```

参考文献

[1] 木原 他，情報検索システムＡＩＲによるＲＡＭＢＩＯＳの検索， 九州大学大型計算機センター広報，vol.18，No.6，pp.497-506，1985年11月．
[2] 篠原 他，情報検索システムＡＩＲの改訂について，九州大学大型計算機センター広報，Vol.20，No.3，pp.211-238，1987年5月．

（データベース室 内線２５１０）
furukawa@cc.kyushu-u.ac.jp

8. 第10回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会の開催について（再掲）

標記集会を次の要領で開催しますので，ふるってご参加ください．

九州大学大型計算機センター

第10回計算機科学研究集会プログラム

日時：平成4年11月27日 (金) 9:50 ～ 17:00
場所：大型計算機センター多目的講習室

開会の辞 (9:50 ～ 10:00)　牛島 和夫 (九州大学大型計算機センター)

講演 (10:00 ～ 11:00)　座長　松尾 文碩 (九州大学工学部)

1. 非線形楕円型境界値問題の解に対する精度保証付き数値計算法
渡部 善隆 (九州大学大型計算機センター)
中尾 充宏 (九州大学理学部)

2. 拡散過程に付随した拡散方程式の数値計算法について
竹生 政資 (九州工業大学情報科学センター)
飯塚 勝 (筑紫女学園短期大学一般教育)

——— 休憩 (11:00 ～ 11:10) ———

講演 (11:10 ～ 12:10)　座長　雨宮 真人 (九州大学大学院総合理工学研究科)

3. 1991年台風19号による山口地方の塩害の衛星リモートセンシング調査
後藤 恵之輔 (長崎大学工学部)
大田 哲男 (長崎県庁)
森 正寿 (近畿大学九州工学部)

4. 多時期衛星データでみる雲仙・普賢岳火山災害の推移
後藤 恵之輔 (長崎大学工学部)
蒲川 俊浩 (大村工業高等学校)
湯藤 義文, 吉本 雅利 (長崎大学工学部)

——— 昼休み (12:10 ～ 13:30) ———

講演 (13:30 ～ 15:00)　座長　有田 五次郎 (九州工業大学工学部)

5. 連合データベースにおける永続データの管理法
木實 新一, 古川 哲也 (九州大学大型計算機センター)

6. 英文科学技術文献抄録文における動詞の決定
竹田 正幸, 楠本 典孝, 松尾 文碩 (九州大学工学部)

7. 正規パターン上の決定木の学習アルゴリズムによるタンパク質データからの知識獲得
宮野 悟, 篠原 歩, 有川 節夫 (九州大学理学部)
下薗 真一, 篠原 武 (九州工業大学情報工学部)
久原 哲 (九州大学大学院農学研究科)

——— 休憩 (15:00 ～ 15:20) ———

特別講演 (15:20 ～ 16:50)

二重指数関数型数値積分公式 －ガウス公式を超える汎用で頑強な公式－
森 正武 (東京大学工学部)

閉会の辞 (16:50 ～ 17:00)　牛島 和夫 (九州大学大型計算機センター)

問合せ先：〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大型計算機センター
研究開発部 古川哲也 (Tel. 092-641-1101 内線 2510)
furukawa@cc.kyushu-u.ac.jp